



発行者

北海道へき地・複式教育研究連盟
<http://dohekifuku.zenhkiren.net/index.html>

委員長 温泉 敏

編集責任者 前田 道弘

印刷所 山東印刷株式会社

夕張郡栗山町中央2丁目245 TEL 0123-72-1151

題字 書家 濱谷 彩鶴 (はまや さいかく) 氏

新たな大会のスタートとこれから

北海道へき地・複式教育研究連盟委員長 **温泉 敏**



令和4年度の活動が終わろうとしています。会員の皆様には、本連盟の事業推進にご理解とご支援をいただきましたことに感謝申し上げます。

本年度も無事事業を終えようとしています。まず、一番の事業である胆振大会については前号で触れましたが、実行委員会の皆さん、会場校に関わった皆さんを始め、参加者を含め多くの皆さんのおかげで実りある大会となりました。改めてお礼申し上げます。

また、各地区においても研究大会・研修会等を企画・実践され、有意義な一年ではなかったかと思えます。あわせて、関係機関との連携も深めることができたことは意味ある一年であったと思っています。

さて、皆さんは「加賀屋」という旅館をご存じでしょうか。石川県名倉温泉にあります。

この旅館は「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」(旅行新聞新社主催)で2016年第41回まで36年連続で総合1位、その後も5回、総合1位になっており、いわば「日本一の旅館」といえます。

加賀屋の3代目女将の小田真弓さん(当時)に

北海道新聞がインタビューした記事が2013年にあります(10月11日)。詳細は書きませんが、記事の最後にある小田さんの言葉です。

「中学2年生のころ、仕事の父に付いて北海道に初めて行きました。洞爺湖の温泉で、日中、私は一人で部屋にいて(中略)客室係さんが『退屈でしょ。』と声をかけてお菓子や果物をくれたり(中略)目の前でぷくぷくと、焙煎した豆でコーヒーを入れてくれました。(中略)今思えば、これが原体験となって私を導いたようなものです。客室係さんの優しさ、気遣いといったものが子ども心にうれしかった。今も理想とする人です。」

次年度は胆振大会ファイナルステージです。日本一といわれる加賀屋の女将の原体験が洞爺湖にあるそうです。そうであれば、このファイナルステージも、参加者にとって理想となる大会を目指し、運営者、参加者等多くの皆さんとともに創り上げ、胆振から発信したいと思うのです。

また、同時に小・中・特別支援学校等ともお互い少しでも「あってよかった道へき・複連」と言われるように取組を進めたいと思います。

稿を閉じるにあたり、北海道教育委員会をはじめ多くの教育関係諸機関、研究団体の皆様、そして、本連盟を支えてくださった全ての皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和4年度 会務報告

事務局長 井上 隆一

1 一般経過報告

【4月】

25日(月) 胆振大会実行委員会(委員長)

【5月】

9日(月) 道小総会・研修会(総務部長)

10日(火) 道小理事研修会(総務部長)
道小分科会運営者研修会全体会
(総務部長)

13日(金) 令和4年度定期総会
(ライフオート札幌)
研修会(講師:弘済会 船山支部長)
新旧役員引継、第1回常任委員会
第1回組織検討委員会
関係機関への挨拶回り
(道教委、道通:委員長・事務局長
研究部長・大会実行委員長)

16日(月) 関係機関への挨拶回り
(道教大、道研、弘済会:両顧問・
委員長・事務局長)
道小分科会運営者研修会(総務部長)

16日(月) 第1回企画委員会・第1回研究推進
委員会(ライフオート札幌)

25日(水) 全へき連春季総会・全へき連理事会
(東京:柿崎顧問・委員長・研究部
長・大会実行委員長)
全へき連第1回図書編纂委員会

【6月】

8日(水) 胆振大会実行委員会(委員長)

10日(金) 情報誌第173号発行

17日(金) 道小会長研修会(リモート:総務部長)

21日(火) 第2回常任委員会(ライフオート札
幌)

23日(木) 胆振大会実行委員会(委員長)

24日(金) 道研講座(柿崎顧問・委員長)

30日(木) 全へき連第2回理事会
(東京:柿崎顧問・委員長・研究部
長)

【7月】

4日(月) 第2回企画委員会・第2回研究推進
委員会(ライフオート札幌)

5日(火) 道小第2回理事研修会(総務部長)

13日(水) 全へき連ICT研修会(白老:両顧問
・委員長・事務局長・事務局次長)

【8月】

1日(月) 第3回常任委員会(ライフオート札
幌)

第2回組織検討委員会

2日(火) 道研PC借用(委員長・事務局長)

4日(木) 胆振大会実行委員会
(古田顧問・委員長・事務局長)

5日(金) 道教委との各課懇談会(総務部長)

【9月】

8日(木) 道小理事研修会・分科会運営者研修
会

9日(金) 道小旭川大会(総務部長)

13日(火) 第4回常任委員会・第1回監査委員
会・第3回研究推進委員会

14日(水) 評議委員会

第71回全道へき地複式教育研究大会
胆振大会1stステージ講演会・分散会

15日(木) 同大会分科会(ハイブリッド:管内
4会場)

16日(金) 胆振大会終了挨拶(胆振局・洞爺湖
・白老:柿崎顧問・委員長・事務局長
・大会実行委員長)

22日(木) 道研講座(柿崎顧問・委員長)

28日(水) 全へき連秋季総会・第3回理事会
(山形:柿崎顧問・委員長・研究部
長・事務局次長)

29日(木) 第71回全へき連研究大会山形大会
~30日(金) (山形:両顧問・委員長・研究部
長・事務局次長)

【10月】

6日(木) 関係機関挨拶(白老:柿崎顧問・委
員長・研究部長・事務局長・次長)

12日(水) 十勝管内音更大会(柿崎顧問)

【11月】

2日(水) 留萌管内ゼミナール
(リモート:委員長)

9日(水) 道研・道教大連携打合せ
(柿崎顧問・委員長・事務局長)

11日(金) 情報誌174号発行

22日(火) 渡島管内八雲大会
(リモート:古田顧問)

28日(月) 全へき連代表者会議・第4回理事会
・全へき連第2回図書編纂委員会

29日(火) 全へき連研究推進協議会

～30日(水) (東京：柿崎顧問・委員長・研究部長)

【12月】

16日(金) 道小理事研修会(総務部長)

【1月】

19日(木) 胆振大会実行委員会
(柿崎顧問・委員長・事務局長)

23日(月) 第5回常任委員会(ライフオート札幌)

27日(金) 全へき連第3回図書編纂委員会
(東京：柿崎顧問・委員長・研究部長)

【2月】

13日(月) 第3回企画委員会・第4回研究推進
～14日(火) 委員会(ライフオート札幌)

16日(木) 全へき連第5回理事会

～17日(金) (東京：柿崎顧問・委員長・研究部長)

20日(月) 情報誌175号発行

24日(金) 道小理事研修会(総務部長)

【5月】

11日(木) 第6回常任委員会・第2回監査委員会

12日(金) 令和5年度 北海道へき地・複式教育研究連盟定期総会
第1回組織検討委員会
第1回常任委員会
関係機関挨拶回り(道教委ほか)

2 一般業務報告

昭和23年に結成された本連盟は、平成30年度に70年の節目の年を迎え、令和から新しい歴史を刻むこととなりました。これまで、地域に根ざした教育を探求するとともに、へき地校の教育条件整備を進め、確実に成果を重ねてきました。新型コロナウイルスの影響は先を見通せない状況が続きましたが、総会、評議委員会は2年ぶりに会同して開催することができ、全道大会もハイブリッドで工夫をしながら行うことができました。徐々にではありますが正常化に向けて研究・組織・条件整備等の課題解決に向けて業務を推進してきましたので、その概要を申し上げます。

◇ 研究面では、第10次長期5か年研究推進計画の4年目として、第71回全道へき地複式教育研究大会胆振大会ファーストステージを開催いたしました。これまでは、前年度のプレ研究大会の開催とあわせて、2地区ごと研究を深め

てきていましたが、今大会よりファーストステージ、ファイナルステージと研究成果を2年連続で本大会となる新しい形による初めての大会となりました。

前述したとおり分散会においては会同を基本としながらオンライン配信を行いました。分科会は胆振管内4市町4校を会場として、参集と各校工夫を加えながら複数画面によるライブ配信、ワンモア配信とハイブリッド型で実施し、大きな成果を得ました。現地実行委員会、会場校等の多大な努力に感謝すると共にファイナルステージでの更なる成果を期待します。

◇ 組織面では、学校規模適正配置計画の推進や少子化による児童生徒数の減少から、各市町村においてへき地・小規模校の統廃合が進み、加盟校及び会員の減少が加速しています。令和になってもその傾向は変わらない状況です。

未加盟校への働きかけについては、各地区に道へき・複連の発足の趣旨や目的、加盟することのメリット等についての啓発活動を行うなどの意識高揚に向けた取組をお願いしてきました。

◇ 教育条件整備については、3学級4定員や教頭未配置校の解消をはじめ、へき地複式校の抱える諸課題の解決のため、全へき連、道小、道へき複連OB会と連携しながら、関係機関に要請してきました。文教施策懇談会の各課懇談会でも道教委に要望等を伝えることも取り組んできました。

◇ 各関係機関との連携では、道研の講座「へき地・小規模校教育充実研修」を6月は講義、実践発表・演習、しかるのち職場実践を行い、9月に実践交流を行うという遠隔型研修を共催の形で実施しました。

また、教育大学の実習に関しても「草の根」として、へき地・小規模校への実施の活動が進められてきました。へき地・小規模校のよさや大切さが認識されたのではないかと思います。

◇ 研究推進、組織確立、財政上の諸課題については、例年、組織検討委員会を設置して検討を重ねてきました。これからも連盟だけではなく各地区の課題も踏まえた論議を重ね、時代や社会環境の変化に対応した組織運営を目指していきたいと考えます。

3 情報関係活動経過報告（概要）

事務局次長 前田 道弘

- 5月13日(金) 定期総会で「道へき・複連情報」
発行計画を承認
情報173号原稿依頼
- 6月13日(月) 情報173号発行・発送
15日(水) 道へき・複連HP更新
- 9月22日(木) 情報174号原稿依頼
- 11月11日(金) 情報174号発行・発送
道へき・複連HP更新
- 1月20日(金) 情報175号原稿依頼
- 2月20日(月) 情報175号発行・発送
道へき・複連HP更新

〈道へき・複連および全へき連HPの内容〉

- 1 概要（要覧 管内担当）
- 2 長期研究推進計画
- 3 各地区研究主題
- 4 道へき・複連刊行物（道へき・複連情報研究部情報 他）
- 5 実践事例
- 6 全道大会
- 7 実践研究発表大会
- 8 全国大会
- 9 シンボルマーク へき地教師の歌「太陽となろう」
- 10 北海道ブロック大会資料

4 情報関係事業報告**(1) 情報関係**

「道へき・複連情報誌」（173～175号）を発行し、広報活動に努めました。173号では、定期総会特集、174号では第71回全道へき地複式教育研究大会胆振大会特集、175号では令和4年度の活動報告及び次年度の胆振大会ファイナルステージについてのお知らせを掲載しました。今年度開催された胆振大会の推進に際しまして、ご尽力いただきました胆振へき・複連の皆様をはじめ、情報提供や原稿執筆を賜りました多くの方々にあらためて感謝とお礼を申し上げます。

〈各号の主な内容〉

【第173号】

- 令和4年度 道へき・複連定期総会特集号
- ・定期総会報告
 - ・役員・代議員研修会の概要
 - ・第71回全道へき地複式教育研究大会胆振大会の案内

【第174号】

- 第71回全道へき地複式教育研究大会胆振大会ファーストステージ特集号
- ・胆振大会ファーストステージの報告
 - ・第72回全道へき地複式教育研究大会胆振大会ファイナルステージの案内

【第175号】

- 令和4年度 道へき・複連活動報告特集号
- ・今年度の活動報告
 - ・第72回全道へき地複式教育研究大会胆振大会ファイナルステージに向けて

(2) 「全国へき地教育研究連盟HP」関係**① スムーズな対応へのご協力**

会員の皆様のご理解とご協力により、へき地・複式教育に係わる各種情報を掲載することができましたことに感謝申し上げます。

「全国へき地教育研究連盟HP」は、全へき連とへき地・複式校を結ぶ貴重なツールです。また、私たちの教育実践を発表し、幅広く交流できる手立てでもあります。今年度のHPの管理運営費用（1校300円）につきましては、道へき・複連の全へき連会計の中から一括して加盟校分を支払いました。

〈具体的な手立て〉

- 定期総会、評議委員会での周知
- 各地区の委員長または事務局長へHPに関わるデータを送信
- 道へき・複連及び各地区事務局長との連携
- 必要に応じて原稿確認を各地区事務局等に送信

② 手続きの流れ

- ア 全へき→道へき：原稿割当
- イ 道へき→各地区：原稿割当
- ウ 各地区→道へき：執筆者報告
- エ 道へき→各地区：依頼文ひな型送信
- オ 各地区→執筆者：依頼文送信
- カ 執筆者→道へき：原稿提出
- キ 道へき⇄執筆者：原稿推敲
- ク 道へき→全へき：原稿提出
- ケ 全へきHP：原稿アップ

※上記については、全てメールで執り行います。

- ③ 原稿種別、依頼数、地区名、氏名
【令和4年9月～令和5年8月】
- ・天塩町立啓徳小学校 校長 佐藤美智子氏
 - ・足寄町立芽登小学校 教頭 中井小百合氏
- 論評（市町村教育長、各局指導主事等） 3本
〈石狩、後志、オホーツク〉
- ・石狩管内 石狩市教育委員会 教育長 佐々木隆哉氏
 - ・後志管内 神恵内村教育委員会 教育長 玉川 量規氏
 - ・オホーツク管内 北見市教育委員会 教育長 志賀 亮司氏
- 山紫水明（校長） 5本
〈空知、渡島、胆振、宗谷、根室〉
- ・深川市立北新小学校 校長 古畑 聡子氏
 - ・知内町立湯ノ里小学校 校長 佐藤 強氏
 - ・室蘭市立喜門岱小学校 校長 小野由美子氏
 - ・豊富町立兜沼小学校 校長 佐藤 佳弘氏
 - ・根室市立落石小学校 校長 加藤 和弘氏
- 事務室より（事務職員） 3本
〈上川、宗谷、釧路〉
- ・占冠村立占冠中央小学校 事務職員 田中 幹也氏
 - ・幌延町立問寒別小学校 事務職員 平井梨理香氏
 - ・厚岸町立太田小学校 事務職員 野澤 弘平氏
- 保健室より（養護教諭） 3本
〈オホーツク、十勝、後志〉
- ・湧別町立富美小学校 養護教諭 小林 優菜氏
 - ・本別町立勇足小学校 養護教諭 鈴木ひより氏
 - ・積丹町立美国小学校 養護教諭 柏谷 董氏
- 研究実践（各校の実践） 6本
〈日高、渡島、檜山、上川、留萌、十勝〉
- ・えりも町立えりも岬小学校 校長 高橋 郁子氏
 - ・北斗市立島川小学校 校長 大山真由美氏
 - ・上ノ国町立河北小学校 校長 中山 晴生氏
 - ・東川町立東川第一小学校 教諭 森 弘美氏
- 若者の広場 2本
〈十勝、上川〉
- ・鹿追町立笹川小学校 教諭 遠藤 千咲氏
 - ・南富良野町立南富良野小学校 教諭 齋藤 一樹氏
- 学習指導案 10本
〈後志、胆振、日高、渡島、檜山、上川、留萌、宗谷、オホーツク、十勝〉
- ・泊村立泊小学校 教諭 中野 絵美氏
 - ・苫小牧市立樽前小学校 教諭 奈良 美里氏
 - ・えりも町立えりも岬小学校 教諭 柏谷 知希氏
 - ・八雲町立浜松小学校 校長 伊藤 明彦氏
 - ・上ノ国町立河北小学校 教頭 中川 真一氏
 - ・占冠村立トマム学校 教諭 村上 唯氏
 - ・初山別村立初山別小学校 校長 安居 和氏
 - ・幌延町立問寒別小学校 教諭 秋葉 雄太氏
 - ・西興部村立西興部小学校 校長 三村 文弥氏
 - ・音更町立西中音更小学校 教頭 佐藤 千秋氏
- ④ その他
- ア 原稿はA4サイズ1枚程度（1200字程度、写真を含む）とし、研究実践については、ページ数の制限を設けませんでした。
 - イ ワード文書で統一しました。道へき・複連及び全へきでの校正作業等がスムーズに行えました。
 - ウ 指導案等では、児童の名前を伏せたり、個人が特定されない写真を使用したりして原稿を作成していただきました。個人情報の保護を図りました。
 - エ 見やすさ・読みやすさの観点から、写真やイラストを有効に配置した原稿をお願いします。
 - オ 大会情報や大会報告がありましたら、随時受け付けて全へき連へ報告いたします。

令和4年度 総務部活動報告

総務部長 小野田 年克

1月23日(月) 第5回常任委員会

1 活動経過報告

- 5月9日(月) 道小総会・研修会
 10日(火) 道小第1回理事研修会
 道小分科会運営者研修会
 13日(金) 定期総会、第1回常任委員会
 第1回組織検討委員会
 16日(月) 道小第1回分科会運営者研修会
 6月17日(金) 道小全道会長研修会 [リモート]
 21日(火) 第2回常任委員会
 24日(金) 組織検討委員会アンケート、
 全へき連基本調査依頼
 7月5日(火) 道小第2回理事研修会 [リモート]
 道小第2回分科会運営者研修会
 [リモート]
 8日(金) 全へき連リンク集調査依頼
 19日(月) 組織検討委員会、
 全へき連基本調査集約
 29日(金) 全へき連リンク集調査集約
 8月1日(月) 第3回常任委員会
 第2回組織検討委員会
 4日(木) 全へき連基本調査結果報告
 5日(金) 道教委各課懇談会
 8日(月) 全へき連リンク集調査結果報告
 19日(金) 道小臨時分科会運営者研修会
 [リモート]
 9月8日(木) 道小第3回理事研修会 [リモート]
 道小第3回分科会運営者研修会
 [リモート]
 9日(金) 道小教育研究会旭川大会
 13日(火) 第4回常任委員会
 14日(水) 全道へき地複式教育研究大会
 胆振大会ファーストステージ
 (～15日)
 評議委員会
 組織検討委員会中間報告
 10月29日(木) 全国へき地教育研究大会
 山形大会(～30日)
 12月16日(金) 道小第4回理事研修会 [リモート]
 ト]

組織検討委員会最終報告検討

2月24日(金) 道小第5回理事研修会

5月11日(木) 第6回常任委員会

12日(金) 令和4年度定期総会

2 要望要請活動〈主な要望事項～抜粋〉

【子どもと向き合う時間の確保に関わる諸問題の取組や学校における働き方改革のより一層の推進】

○GIGAスクール構想における人的支援・学びの充実

【教育課程編成、実施及び充実のための条件整備】

○「生きる力」を育む教育課程の編成・実施・評価・改善に向けた道独自の条件整備

○3学級4定員、6学級8定員など、小規模校における定数改善及び専任教頭全校配置

○中学校における免許外担当の一層の縮減のための講師制度の拡大と充実

【へき地・複式校、小中併置校、小規模校における条件整備】

○統廃合における人的な配置

○複式指導における児童の学習環境の向上と教員の負担軽減

○複式学級における教員の実践力向上

○へき地学校指定級見直しに向けた条件整備

○へき地教育振興法についての周知(新規要望)

【学級編制及び教職員定数の改善】

○小学校の複式学級における学級編成基準の引き下げ及び中学校の複式学級解消のための教職員定数の改善

【へき地・複式・小規模校への教育実習拡大に向けた支援と環境整備】

3 各種調査

(1) 全へき連関係調査

○全へき連基本調査

○全へき連リンク集調査

(2) 組織検討委員会調査

○各地区連盟にご協力いただき、集約。組織検討委員会において検討し、9月に中間報告実施、次年度総会にて最終報告を行う。

令和4年度 研究部報告

研究部長 森 広明

1 研究主題

「主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成」～児童生徒一人一人が仲間とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

2 活動の重点

第10次長期5か年研究推進計画の第4年次としての確かな実践研究を行い、地域に根ざした魅力ある教育活動を推進する。

また、「第71回全道へき地複式教育研究大会胆振大会（ファーストステージ）」の開催による実践記録の累積・収集を行う。

3 活動報告

(1) 共同研究体制の強化と実践研究の充実

① 企画委員会

- ・ 構成…研究部長、研究推進委員長、副委員長、各部長
- ・ 開催日…5/16、7/4、2/13
- ・ 内容…研究推進委員会の企画・推進及び全道大会の対応等の協議

② 研究推進委員会

- ・ 構成…研究部長、各地区研究推進委員
- ・ 開催日…5/16・17、7/4・5、9/13、2/13・14
- ・ 内容…全道大会への支援・協力、道へき・複連の共同研究の推進、参考資料の執筆・編集・発刊等

③ 各地区へき・複連研究活動への協力

- ・ 各地区研究大会等への支援

④ 未加盟のへき地・複式の小学校や小規模中学校に対して、共同研究参加の呼びかけ

(2) 「第71回全道へき地複式教育研究大会胆振大会（ファーストステージ）」の開催と共同運営

① 大会スローガン

「産業豊かな多様性に満ちた胆振の地から子どもたちに未来へ飛躍する力を」

② 開催日…9/14・15

③ 大会内容

- ・ 基調報告…胆振へき・複連
- ・ 分散会…釧路・石狩・空知地区より提言
- ・ 分科会…2市2町4会場

④ 協力内容

- ・ 分散会の企画運営、分科会での助言

⑤ 成果と課題

- ・ 分散会は制限参集であったが、久しぶりのリアル開催ということもあり、各地区・各校の特色を生かした3つの提言にそって、活発な意見交流で盛り上がり、配信では難しい学びの深まりとなった。配信は、時間的・人的に一方向での実施となった。
- ・ 分科会では、3年ぶりに会場校へ参集して公開授業・研究協議を行った。各校の研究主題やへき・複連の課題にそって、個別最適な学び・協働的な学びの児童の姿が各校で観られた。遠隔で合同・交流授業を行った学校もあり、端末を活用した学習は全学校で公開された。全へき連の協力のもと、各校工夫を凝らした授業配信（ライブ配信、ワンモア配信）を全国・全道に行ったことも大きな成果である。

(3) 第10次長期5か年研究推進計画の実践と蓄積

① 各地区実践事例の収集

② 地区へき・複連教育実践研究資料の蓄積と還流

(4) 研究資料の編集と発行

① 道へき・複連「研究部情報」の発行

- ・ 7月…長期計画の推移、研究組織
- ・ 10月…全道大会の概要報告

② 調査結果と分析

- ・ 全道複式校の研究分野・課題
- ・ 全道複式校の学級編制・形態
- ・ 複式学級を有する学校の指導形態

③ HPへの掲載

- ・ 第10次長期5か年研究推進計画に基づく各地区実践事例

④ 全へき連への実践資料提供

- ・ 日高地区…新ひだか町立桜丘小学校
- ・ 後志地区…蘭越町立昆布小学校

(5) 教育関係各機関・団体等との連携

① 北海道教育委員会・各教育局との連携強化

② 北海道立教育研究所、各地区教育研究所、北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センターとの連携

③ 全国へき地教育研究連盟との連携

- ・ 全へき連研究図書編纂委員会
- ・ 全国へき地教育研究推進協議会
- ・ 「第71回全国へき地教育研究大会山形大会」への協力と情報提供

令和4年度 財政部報告

財政部長 北村 剛

1 令和4年度業務執行について

- (1) 会計業務については、事務局及び各部、各委員会、各地区へき・複連との連携を図り、計画に従って執行しております。
- (2) 道へき・複連会費については、当加盟会員数の減少により会費収入が減少いたしましたが、計画に従って納入いただきました。
- (3) 全へき連会計につきましては、負担いただいた分を滞りなく支出することができました。今後、次年度に向けて全へき連への免除申請を行って負担金を決定いたします。また、管理職負担金につきましても、各地区のご協力により入金され、全へき連への送金を終えております。
- (4) 刊行物につきましては、今年度、北海道へき地・複式教育研究連盟結成80周年記念誌の発行に向けて積み立てをしております。
- (5) 全へき連発行の令和4年度実践事例集「ふるさとへの誇り」の取組を進めることができました。各地区へき・複連においては発行の趣旨をご理解賜り、ご協力いただいたことに感謝いたします。
- (6) 運営資金会計は拠出金の微増となりました。納入された金額の中から規定通り全へき連への送金を終えております。各地区へき・複連のご理解とご協力で心より感謝申し上げます。

2 令和5年度の予算編成について

- (1) 予算編成における収入の見込みについては、学校の統廃合や学校規模の縮小により、今後も学校数・教職員数の減少等が予想され、昨年度以上に厳しい情勢となると思われます。予算編成の基礎資料として、2月中に各地区のへき・複連の加入校数・教員数を調査し、収支予定額を把握した上で予算を編成いたします。各地区の担当者の皆様にはお手数をかけますが、よろしくお願いいたします。
- (2) 令和5年度の一般会計については、諸活動の充実に努めるとともに、削減可能な項目をより意識して予算編成を行い、令和5年度定期総会に提案します。
- (3) 現在執行中の旅費規定は、会員の皆様にご協力いただき圧縮しつつ執行しております。ご協力をよろしくお願いいたします。
- (4) 全へき連会計及び運営資金会計は、納入される負担金等の範囲内で執行します。また、全へき連HPの運営費については限られた予算の中で対応していきたいと考えております。今後とも、管理職の皆様をはじめ教職員の皆様への納入拡大への働きかけや未加入校の加盟を促すようお願いいたします。
- (5) 刊行物会計については、令和5年度も、本道の実践も盛り込まれた全へき連の刊行物発行が予想されます。各地区へき・複連においては、研究図書を購入として予算付けし、購読促進の取組をぜひお願いいたします。

令和4年度 一般会計執行状況 (令和5年1月23日見込み)

【収入の部】

項目	令和4年度予算	決算見込	増・減(▲)
会費	2,939,208	3,022,032	82,824
繰越金	1,618,128	1,618,128	0
繰入金	600,000	600,000	0
助成金	280,000	300,000	20,000
雑収入	30	41	11
合計	5,437,366	5,540,201	102,835

【支出の部】

項目	令和4年度予算	決算見込	増・減(▲)
研究大会費	0	0	0
研究調査費	2,020,000	1,158,740	▲861,260
研成刊行費	212,000	148,280	▲63,720
事務局費	3,325,366	1,511,295	▲1,814,071
合計	5,557,366	2,818,045	▲2,739,321

学校数：233校

教員数：1,412名

【差引残高(1/23見込)】 5,540,201円 - 2,818,045円 = 2,722,156円

第72回

全道へき地複式教育研究大会 胆振大会ファイナルステージ の開催について

胆振へき地・複式教育研究連盟
研究部長 羽根 秀哉

1 はじめに

昨年9月14、15日の2日間、洞爺湖町を全体会場に胆振管内4市町4会場において、第71回全道へき地複式教育研究大会胆振大会ファーストステージが開催されました。

本研究連盟では、大会開催に向けて2年前より実行委員会を組織し、準備を進めてきました。大会に向けた授業研究においては、北海道へき地・複式教育研究連盟の第10次長期5か年計画に掲げる「学習指導の深化・充実」に係わる3つの課題を受け、主体的・対話的で深い学びと一人一台端末をはじめとしたICTを活用した授業改善による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けて、公開校と協力校による共同研究を行ってきました。また、開催方法においては、参集とオンライン配信によるハイブリッド型で計画し、コロナ禍にも対応した新たな研究大会の実施を図ってきました。

こうした取組を経て、開催された胆振大会ファーストステージは、道外・管外・管内より全会場合わせて200名ほどの御参加をいただきました。公開授業・研究協議では、授業の在り方について多くの御意見・御助言をいただくことが出来ました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

また、本大会の開催にあたり、多大なる御支援・御協力をいただきました北海道教育委員会、北海道教育庁胆振教育局、各市町教育委員会、北海道教育大学、SoftBank、会場校、協力校、教育関係機関の皆様にご心より感謝申し上げます。

2 ファーストステージの成果と課題

胆振大会は新たなブロック大会の始まりとして2年連続での開催となり、北海道へき地・複式教育研究連盟の第10次長期5か年計画における4・

5年次にあたります。「主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成」を研究主題に、自ら学び、共に支え合いながら社会に貢献する子どもの育成を目指してきた研究整理期として実践検証を進めてきました。各校では、自校の研究課題と研究内容を第10次長計との関連を明確にしながらか研究推進に努め、ファーストステージでは以下のような成果と課題が明らかになりました。

【成果】

- ・ICT活用により、意見交流や思考の比較などがスムーズにでき、自己の考えを持つことができている。
- ・課題やゴールの提示により、児童が見通しを持って主体的に取り組んでいる。
- ・ガイド学習や学習形態工夫により、児童が主体的に判断、行動して学習に取り組んでいる。
- ・遠隔合同授業により、相手意識が高まるとともに、多様な意見や考えに触れることができている。

【課題】

- ・ICT活用の場面選定や技能面の指導、ノートとの併用など、効果的活用に向けて研究および整備を進めていく。
- ・対話や協働による学習を通して、他者の思いや考えを結び付けながら自己の考えを深めていけるよう指導を図っていく。
- ・発表時における目的や方法を明確にしていく。
- ・遠隔合同授業では、学校間の連携強化や学習活動の広がりを探るとともに、効果の検証も行っていく。

3 胆振大会ファイナルステージに向けて

第72回全道へき地複式教育研究大会胆振大会ファイナルステージは、大会スローガン「産業豊かな多様性に満ちた胆振の地から子どもたちに未来へ飛躍する力を」のもと、今年9月13・14日に開催します。

大会に向けて、第10次長計に基づき、主体的・対話的で深い学びの実現に向けたICTの効果的活用を図りながら研究を進めています。また、開催方法につきましても、オンライン参加者が研究協議等に積極的に関わられるよう改善・検討していきます。へき地・複式教育の更なる充実に向け、成果を発信していけるよう努めて参りますので、多くの皆様の御参加をお待ちしています。

北海道へき地・複式教育連盟HPがリニューアルされています

主な掲載内容

- 概要(要覧、管内割当)
- 長期研究推進計画
- 各地区研究主題
- 刊行物
- (へき連情報・研究部情報等)
- 実践事例
- 全道大会
- 実践研究発表大会
- 全国大会
- シンボルマーク
- へき地教師の歌
- 「太陽となろう」
- ブロック大会資料



各地区の実践事例や大会資料が数多く掲載されています。これまでの全道大会の集録など、大変見応えのあるデータとなっております。

胆振大会ファーストステージでの研究紀要や指導案をはじめ、当日行われた講演会の資料や、配信等を含めた運営資料をまとめた記録集も掲載されました。是非ご活用下さい。

令和5年度 北海道立教育 研究所主催

研修講座 『へき地・小規模校 教育充実研修』

の現時点での概要情報です！

期日および主な内容(予定)

- (1) 令和5年5月25日(木)午後
遠隔型研修Ⅰ(講義、発表、演習)
↓ 【 職場実践 】
- (2) 令和5年12月7日(木)午後
遠隔型研修Ⅱ(実践交流・協議)

- 実施方法■ 全2回の研修を遠隔型研修により実施します。「遠隔型研修Ⅰ」終了後に「職場実践」や「道へき複胆振大会」への研修参加等を行い、「遠隔型研修Ⅱ」において実践内容の交流を行います。
- 会場■ 各受講者の勤務校(勤務校にいながらの受講が可能です。)
- 期日■ 上記の予定
- その他■ 詳細については、後日ご案内します。